南下して**ロスアンゲレス**に歸着し，數日の船待ちの間に長田，高村，高木，3氏等と，モハヽベ沙漠で曉天に黄道光を觀察したり，又，ロス市内では，日系第二世たちのパレヽドや，勞働祭の行列等を見る機會を得ました．

それから，私は九月6日，最初渡航の"**照川丸**"に又々乘り込むことゝなり，乘り合ひの岡野君も同じまゝで，翌7日ロスアンゲレス港を出帆しました．船は滿船の荷物を積んで，二週間餘の航路を，ほゞ北緯35°の線に沿つて取りつゝ，横波に多少搖れつゞけましたが，いよいよ日本に近づいた頃，小笠原方面から來る颱風におびやかされつゝ，巧みに其の影響を避けて，九月24日午後目出たく**横濱**港内に入りました．

前後一百日未滿の旅で，太平洋と，太西洋と，北米大陸とを往復し，あはたゞしい國際風雲のみなぎる中に，幸ひ何の恙も無く，學會參列の使命を果し，剩へルヽテル遺跡の巡禮も終へ，健康を維持して，無事に元の鄕國に歸りましたことは，誠に幸福でありました．此の旅中，見聞した點は決して多くはありませんけれど，それでも，日支の事變が歐米各國に與へてゐる影響や，14年ぶりに見る中歐のありのまゝの姿，又，昨年から今年へ僅か一年の間にも變化の激しい米國の社會事情など，旅でなければ獲られぬ印象を經驗したのは有意義でありました．（終）

長田政二氏逝く

米國の南カリフオニヤに於いて大きい農業を經營する傍ら，天文學の趣味に生き，1931年には一新彗星を發見して，永く學界に其の名を殘し，尙ほ，我が邦人のために外國に於いて氣を吐きつゝあつた本會員長田政二氏は，去る9月8日，ロスアンゲレスの病院に於いて長逝したとの報知を Howard 氏から得た．哀悼に堪えない．長田氏は，人としても，天文家としても，既に可なり廣く知られた南加の名物男であつて，自分が近年渡米する度毎に必ず遠い其の農場からやつて來て，互ひにロス市で會ふことを樂しんでゐた純眞な人であつた．本會の米國支部幹事であり，又，米人社會のためにも獻身的な人であつた．"天界"第11卷以來，屢々氏の寫眞や記事があり，最近は第207號にも口繪寫眞として現れてゐる．（山本記す）